

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1)担当支部:	山形支部	(2)記載者氏名:	渡辺 誠	会員番号:	12190	事務局整理記入欄	山形-8
分水嶺区分	E228エコライン～E220笹谷峠	(3)山行日:	2004年	5月	23日	(4)天候:	曇後晴

(15時頃より小雨)

(5)参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

齊藤 哲郎	6184	佐藤 達雄	10914	菊地 俊彦			
阿部 勇作	7487	東海林 敬	11517	(菊地支部長は踏査に参加後、途中から下山しサポートにまわる)			
今野 秀穂	8227	田中 洋子	11762				
松田 孝一	8362	志田 郁夫	12124				
會田 茂雄	9173	渡辺 誠	12190				
菊地 俊彦	9276	佐藤 映子	12340				
長岡 伸恭	10761	椎名 高夫	12531				
計			14名	計			1名

(6)山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	E228エコライン～E227刈田岳鞍部～E226熊野岳鞍部～E225自然園～E224名号峰～E223八方平～E222雁戸岳～E221有耶無耶関址～E220笹谷峠												
アプローチ:	エコライン刈田駐車場まで車使用												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	エコライン(刈田岳駐車場)	蔵王山											
分水嶺到達点E228	"	"	140	26	14.0	38	7	39.1	1,592		7:20		①
E227	刈田岳鞍部	"	140	26	41.6	38	7	53.0	1,715	7:40	7:45	A-1	②、③
E226	熊野岳鞍部	"	140	26	45.4	38	8	37.0	1,829	8:19	8:25	A-1	④
E225	自然園	"	140	27	15.9	38	9	7.2	1,829	8:53	9:05	A-1	
E224	△名号峰	"	140	27	2.2	38	9	25.4	1,496	9:31	9:40	A-1	
	△1236.8m峰	笹谷峠	140	28	26.8	38	10	3.2	1,240	10:45	10:48	A-1	
E223	八方平(避難小屋)	"	140	28	48.9	38	11	2.6	1,286	11:20	12:00	A-1	⑤(昼食)
	南雁戸山(1,486m)	"	140	28	41.1	38	11	35.5	1,492	12:37	12:45	A-1	
E222	△雁戸山(1,484.6m)	"	140	28	38.2	38	11	56.8	1,487	13:20	13:50	A-1	
	カスカガ峰	"	140	28	24.3	38	12	35.2	1,341	14:40	14:50	A-1	
E221	有耶無耶関址	"	140	28	25.8	38	13	24.6	955	15:31	15:35	A-1	
分水嶺離別点E220	笹谷峠	"	140	28	6.8	38	13	40.3	906	15:45		A-1	
歩行終了点	"	"											
総歩行時間(休憩時間を除く):											6時間22分		

(7)三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
E224△名号峰	金峰	3	南南東	不良	方位が南南東に20度ずれている。本来、埋設されている部分が約20cm露出している。
△1,236.8m峰	群玉	3	南	良好	
E222△雁戸山	草倉山	2	南	抜去	山頂に抜去されたままの状態で見捨てられている。

(8)人工施設の現況および地形図との相違点

③刈田岳山頂には、刈田嶺神社と三等三角点(刈田岳)がある。
④熊野岳山頂には、蔵王山神社(以前は熊野神社と呼ばれていた)、避難小屋、二等三角点(熊野岳)がある。また、東西尾根の名号峰分岐の手前に石室避難小屋がある。

(9)水および植生に関連した特記事項

⑤踏査コースには、水場はない。八方平避難小屋の西方の沢(八方沢支流源頭)で6月までなら水を得られるが、年によって枯れているので、期待しないほうがいい。
* 今回の踏査で見られた高山植物等 ミネザクラ、アズマシャクナゲ、ショウジョウバカマ、エンレイソウ、ミネズオウ、フデリンドウ、ハクサンフウロ、ツバメオモト、ミヤマキンバイ、マイヅルソウ、ズダヤクシュ、ミヤマスマシ、ムラサキヤシオ、キクザキイチゲ、ヒナザクラ

(10)その他の特記事項

①テ-9No.E228 エコラインについて: 山形支部は、検討の結果、山形県側の右又沢と宮城県側の入ナンバ沢が交わることを分水嶺として採用した。
②テ-9No.E227 刈田岳鞍部について: 本部の資料では、1,500m地点を指定しているが、地元では、刈田駐車場からの登山道と「馬の背」の最低鞍部が交差するところを刈田岳鞍部としているため、こちらを採用した。

(11)写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: 八方平の避難小屋 雁戸山の抜去されたままの三角点

山行報告書(続き)  
表面(1ページ目)に書ききれなかった事項を記入してください。



八方平の避難小屋



雁戸山の抜去されたままの三角点